

2024年7月9日

株式会社うるる

第24回定時株主総会(2024年6月27日開催) 質疑応答

2024年6月27日（木）に開催いたしました、第24回定時株主総会での質疑応答について、要旨を下記のとおり公開いたします。インターネット上でのみ開催する「バーチャルオンリー株主総会」でした。総会前日までに届いた事前質問は1問あり、総会当日中の質問は4問いただきました。いずれの質問も、総会参加用Webサイトより受け付けました。

なお、頂戴したご質問は原文ママで記載しております。

<事前質問>

Q1：

今後M&Aや自社株買い、企業とのアライアンスなど考えていますでしょうか？

A1（代表取締役社長星より回答）：

M&Aは成長戦略の一つとして掲げております。社長である私の直下に「未来創造チーム」というM&A及び新規事業を実施する部門を置き、この4月からは取締役の近藤を管掌役員として加えるなど、これまで以上に推進していく体制を整えております。M&Aや新規事業の検討を通じて、必要な他社とのアライアンスなども実施してまいります。

自社株買いにつきましては、グループ連結ではなく、当社単体の利益剰余金が自社株買いの原資となりますが、現時点では単体の利益剰余金は連結と比べて少ないため、自社株買いはすぐには検討できない状況です。具体的には、3月末の単体の利益剰余金は3億2,800万円であり、本総会で決議いただけたら、総額2億4,200万円の特別配当を実施するため、配当後で8,600万円程度の利益剰余金となる見込みでございます。

原資としては少額のため、すぐに自社株買いを行うことは難しいのですが、将来的には、株価水準や当社の状況、株式の流動性など、総合的に勘案して自社株買いの検討を行う可能性はございます。

<当日質問>

Q2 :

インフレ下で各社SaaSが大きく値上げする中でARPUが上がっていかない原因、今後の対応策、見通しを教えてください。

A2（取締役渡邊より回答）：

現在NJSSでは、前期までに準備を進めてきた「GoSTEP」や「資格管理サービス」などのクロスセル商材の販売やID追加などのアップセルを積極的に実施していくことによりARPUの上昇を目指しております。

Q3 :

チェンジホールディングスとの合併会社の現状や進捗状況についてはどのようになっていますでしょうか？

A3（取締役渡邊より回答）：

現在、株式会社チェンジホールディングス及び株式会社ジチタイワークスと協業し公共団体向けのサービスである調達インフォを有料販売しており、当初計画の通りほぼ順調に推移しております。

計画の経過を見つつ、2025年3月31日までの合併契約締結を目標として株式会社チェンジホールディングスと協議を進めてまいります。

Q4 :

OurPhotoの割引券ではなく別の株主優待の検討をして欲しい。正直使わないです。

A4（代表取締役社長星より回答）：

現在、毎年3月31日現在に当社株式を100株以上保有いただいている株主の皆様へ、当社子会社が運営するOurPhotoの出張撮影サービス「OurPhoto」3,000円割引クーポンを1枚贈呈しております。是非株主の皆様へ、OurPhotoのサービスをお試しいただきたく存じます。

それ以外の株主優待については現状検討は行っておりませんが、貴重なご意見として受け止めて存じます。

Q5：

2017年上場の公募価格は1500円です。現在の株価は概ね1500～1700円です。

上場当時の日経平均が2万円程度であったことを考えると現在の株価は大幅に公募割れしているとも言えます。業績の成長に比較してあまりに株価が低迷していますが、どのような対応を考えられていますか？

A5（代表取締役社長星より回答）：

適正株価について一概には申し上げることはできかねますが、現在当社の株価はPER25倍程度で評価されております。

今後株価を上げていくためには、利益額を上げていくこと、そしてPER倍率を上げること、の二つが必要と考えております。

当社は利益指標であるEBITDAの成長率について年間平均20%以上を目指すとしておりますが、この利益成長率をより引き上げていくことがPER倍率を上げる要素になると考えております。

利益成長率を引き上げるには、既存の事業を成長させていくことに加えて、M&Aなどを活用した成長も必要になると考えており、これを実現させるための活動も活発化させております。

株主の皆様のご期待に沿えるよう邁進してまいりますので、ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

以 上

注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの基準と異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。